

1982年、高根台中央整骨院の創業から25年。

株式会社シー・エム・シーは、  
現在63店舗の直営店を抱える整骨院グループへと発展した。

シー・エム・シーにとって、従業員は“家族”であり、  
“家族”を一人前にするのが会社の務めだという  
シー・エム・シーには、確かにその仕組みがある。  
人事担当として社員教育システムの根幹を支える、  
総務部長の志田氏にお話を聞いた。

教育システムに優れた整骨院グループ

志田 恵一

“家族”を一人前にする会社、  
シー・エム・シー。

「シー・エム・シー」という社名は、「中央メ  
ディカルコーポレーション」から改称されたこ  
とですが、シー・エム・シーさんはどのよう  
にして現在の一大整骨院グループに発展して  
きたのでしょうか？」

「シー・エム・シーのルーツは、船橋市にある高  
根中央整骨院です。代表の近藤が開業して、  
その後アシスタントを育成し、アシスタントの  
育成を支援しながら少しずつ店舗が増えてい  
きました。柔道整復師は開業すると独立するこ  
とが多いのですが、シー・エム・シーの場合は  
会社に残ることが多かったんですね。そうやっ  
て、徐々に店舗が増えていって、現在63店舗の  
整骨院グループになりました。いろいろな意味  
で居心地がよいのでしょうか？」

「志田部長からみて、シー・エム・シーさんはど  
のような会社ですか？」

「そうですね。元氣・活気・明るさを追求してい  
る会社ですね。企業理念としては、愛を伝える、  
というテーマがあって、その対象には「社会」  
「患者」「自己」という三つがあります。シー・エ  
ム・シーは、この「社会」「患者」「自己」の三つのパ  
ラメータを大切にしている、それは従業員教育の  
基本原則になっています。」

「なるほど、志田部長は居心地のよい会社と  
おっしゃっていましたが、従業員についてはど  
のように考えているのですか？」

「シー・エム・シーは、従業員を「家族」と捉えてい  
ます。一生懸命に働く従業員なら、会社もそれに  
応えて、精一杯面倒をみるという会社です。例え  
ば、独立できる実力が十分に備われば、会社とし  
てその従業員の独立開業を全面的に支援してい

ます。院長として6年間経過後は、希望する場  
所（沖縄・北海道）に整骨院を開業し、無償で譲  
渡する制度があります。直営店の開業というの  
は、会社にとっても大きな投資であり、当然そ  
れ相応のリスクを負うわけですが、指定期間を  
きちんと運営してもらえれば投資の多くは回  
収できますし、こうすることで従業員は独立後  
も家族意識を大切にしてくれやすくなります。緩やか  
な家族的ネットワークになるんですね。当社は、  
地方都市において、そうした家族的なグルー  
プを形成していきたいと考えています。」

「なるほど、将来独立開業したいという柔道整  
復師にとってはうれしい制度ですね。ところで、  
シー・エム・シーさんの教育制度というのは、ど  
のようなものなのでしょうか？」

「大きく分けて、入社時の配属前に行う研修と、  
配属後に継続的に実施される「CMCカレ  
ッジ」があります。入社時の新入社員研修は3泊  
4日で行います。これは、会社の理念や概要を  
学ぶほか、一般的な社会人教育が施されるわけ  
ですが、大きな目的としては、配属先でかわい  
がってもらえる、ことになりす。新人は当然  
ながらスキルがありませんから、先輩スタッフ  
に教えてもらうわけですが、人間的にかわい  
い人には教えやすいじゃないですか。患者さん  
だって、新人が一生懸命仕事していたら、多少  
スキルが低くても逆にいろいろと教えてくれ  
るものです。かわいくなってもらえる新人になる  
ことは、すごく大切なことです。そして、新入社  
員研修の後は、「ボディケアスクール」というの  
があります。これは配属先での基本的な手技を  
習得させることが目的となります。配属される

と、なかなかゆっくり教えている時間がとれま  
せんから、配属前にきちんとトレーニングをす  
るのです。新人を現場に放り込んで「見て覚え  
ろ」では、どうしても成長が遅くなりますし、現  
場にかかる負担も大きくなってしまふんです  
ね。「ボディケアスクール」は、配属後も継続的  
に通ってもらって、トレーニングの機会を提供  
しています。」

「充実した配属前研修ですね。配属後はどのよ  
うなプログラムなのでしょうか？」

「配属後の「CMCカレッジ」は、様々な分野の  
科目で構成された教育プログラムで、月・水・金  
の昼休みと夜間の2コースで受講できるよう  
なっています。年3回の単位認定試験があつ  
て、パスするとその科目に対応した業務を行え  
るというものになります。試験は1人に対して  
3人の試験官が張り付いて合否を判定します  
が、合否は最低限その業務を行えるレベルにあ  
るかどうかを基準としています。「患者さん  
入っても大丈夫か」という判定をするわけです。  
当たり前ですが、できないのに患者さんに入っ  
てはダメだということ、試験に合格すれば、  
あとは患者さんに対応しながらスキルを磨い  
ていくというわけです。」

「非常に厳格な教育システムですが、評価は公  
正で、クリアになりますね。」

「確かにそうですね。試験は一回に6単位まで  
エントリーできます。業務範囲とリンクします  
ので、みんな一生懸命にチャレンジしてくれま  
す。うちは給料も実績に連動しますから、なか  
には28歳で年収1000万を超えた院長もい  
ます。「CMCカレッジ」のゴールは、地域でナ

ンバーワンになることで、34単位のクリアで  
それが実現できるようにプログラムされてい  
ます。」

「「CMCカレッジ」はいつ頃から実施されて  
いるのですか？」

「もう20年くらいになりますか。以前は64単位  
だったんですが、だいぶ絞り込んで、ゆとり教  
育になってしまいました（笑）。結局、全部の  
単位をとって、地域ナンバーワンとなれば、一  
生食べていける食いつながりますよ。家  
族だから、会社として従業員を早くそうして  
あげることが使命だということなんです。」

「20年も前からこのシステムがあるとは、も  
はや「CMCカレッジ」はシー・エム・シーさん  
のアイデンティティといっても過言でないで  
すね。ところで、現在300名以上のスタッフ  
を抱えているらしいですが、これからどん  
な人材を求めているのでしょうか？」

「やはり、一生懸命にやれる人が欲しいです  
ね。シー・エム・シーでは、「不義理なこと」と「や  
らないこと」はNGなんです。不義理はダメで  
すが、やって失敗するのは大いに結構です。失  
敗から人は成長しますから。ですから、一生懸  
命にやれる人材が欲しいですね。また今後、各  
店の柔道整復師の比率をあげていく予定で  
す。現在も一店舗あたり最低2名は柔道整復師を  
配置していますが、もう少し増やしてもいい  
かなと考えています。」

「今後もCMCファミリー・ネットワークが大  
きく成長していくことを期待しています。今日  
はお時間をいただき、ありがとうございました。」

## Interview

志田 恵一  
KEIICHI SHIDA

1991年、関東鍼灸専門学校を卒業。1993年に、東京医療専門学校教員養成科を卒業し、2002年まで関東鍼灸専門学校で教員を務める。株式会社シー・エム・シーで経理部長を務める。北海道から沖縄まで全国の医療専門学校で「主訴について」「クレーム対応」などのテーマで講演を行っている。得意な好きなことは、医療専門学校の学生に国家試験以外の内容の話をする。

## 我々の“家族”となる整骨・鍼灸院スタッフ募集中!

### 業種

・整骨院・鍼灸院・クリニック・スポーツトレーナー

### 給与

・柔道整復師 ¥250,000(資格手当込)  
・鍼灸師 ¥190,000(資格手当込)  
・医専学生 ¥100,000(資格手当別)

### 待遇

・保険完備  
(健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・法定外労災・医療賠償保険)  
・社員寮完備¥20,000/月(電気・ガス・水道代込み)  
・日曜・祝日・他2日/月・夏季休暇・年末年始  
・保養所(猪苗代・千葉太東)  
・白衣貸与  
・交通費全額支給(社内規定有り)

CMC整骨院グループ

求人担当 市川・長沼 迄 ☎0120-012-203  
〒273-0031  
千葉県船橋市西船4-24-11 <http://www.cmc-g.jp/>